

越前町小中学校の再編（案）についての説明会 結果概要 [糸生小学校区]	
開催日時	令和3年10月29日（金） 午後7時～午後8時45分
開催場所	糸生小学校体育館
出席者数	児童・未就学児保護者：17名 一般住民：8名 糸生小学校長・糸生小学校教頭
事務局	教育長・教育委員会事務局長・学校教育課長・町指導主事・学校教育課職員2名

主な質疑・応答の概要	
意見・質問	回答
経済的な側面はあえて記載していないと思うが、教えて頂けるとありがたい。	統合しても子どもたちにかかる経費は変わらない。維持管理や人件費も全てがなくなるわけではなく、今後の跡地活用の方向性によっては、経費が発生する場合もある。
アンケート結果では、小規模校のメリットを感じている内容でもあると受け止めるが、どのように考えているか。	少人数が悪いわけではなく、たくさんの人とふれあい多様性のある経験も必要だと考えている。町内の学校において同じような教育環境を整えたい。
多様性も大事だが、中学生からでも良いのでないか。	いずれ一桁のクラスとなる中で、中学生からでは遅いという不安を持っている。
中学生からでは遅いというのは何か実証があるのか。	何人が良いのかということは難しいところだが、統合を検討して欲しいとの声が多いことから、今回の再編の取組みとなった。
アンケート結果については学校ごとに示せるのか。	ホームページで確認いただける。
福井市の複式学級が多い地域では、複式学級を理由に市街地へ引越すケースを聞く。複式学級の教育には不安があり、複式学級となる段階で統合するなどできないのか。	早く進めて欲しいなどの意見があれば、持ち帰り検討したいと思う。
学校がなくなることにより、若い人が住もうとする力がなくなることや、地域からどんどん人が減っていく不安がある。町として人口減少問題への対応についてお聞きしたい。	これまで宅地造成や企業誘致など行ってきたが、人口減少は続いているのが現状である。これからは地域に残る人に対する支援の要望もありなど、学校再編の問題だけでなく、町全体で地域を盛り上げていく施策が重要である。
アンケート結果について、教員のアンケート結果などはあるのか。	教員のアンケートは実施しているが公表していない。

再編の内容については理解できるが、結果がどうなるのか未知数だ。再編を進める上で、子どもたちに対して耳を傾けて欲しい。	子どもたちのことを第一に考え、学校で説明や話をして進めていきたいと考えている。また、時間をかけて学校同士の交流も行っていきたい。
他の地区の説明会の意見を知りたい。公表するのか。	全地区終了次第ホームページ等で公表したい。
早い段階での多様性に触れ合うことが統合の目的なのか。納得いかない。本当の目的は別のところにあるのではないか。	今回のきっかけは複式学級を解消して欲しいとの意見が一番であること。他の意図はない。
放課後の友だちとの交流も大事であるので、小学校までの距離が遠くなることについて配慮をお願いしたい。	希望する児童館などへお送りするなど、スクールバスの運行を含め調整していきたい。
再編が決まれば、たくさんの摺合せが出てくると思うので、保護者などが参加できる場を設けて統合に向かって進めて欲しい。	再編を進めるにあたり、再編準備委員会を設置し検討していくことになる。保護者や先生にも参加して頂きたいと考えているので、その時にはご協力をお願いしたい。
統合は仕方ないが、説明する場を増やすなど理解を得ながら進めて欲しい。廃校後の活用も含め、糸生地区の素晴らしさを残せるよう検討を進めて欲しい。	統合はまだ先になるが、これから色々な場面で学校再編について考えて頂きたい。そして、これからの糸生地区についてどうしたらよいか考え要望して頂きたい。
統合はしないほうが良いと思っているが、これから各世代の保護者が集まって意見を共有できる場を作っていただきたい。	これからまだ時間があるので、皆さんの集まれる場を作り色々な意見を出して頂きたい。
宮崎地区は、他の地区と比べて子どもの減少数が少ない。糸生地区にも参考になることがあれば教えて欲しい。	江波、樫津地区に大きな団地を造成したことが影響していると思う。しかし、複式学級にならないだけで楽観視はできない。
少人数の学級は不安で、PTAなど各家庭の負担は大きいと思うが、学校が無くなることは地域への精神的負担が大きいと思う。地域の方がどのように考えているのか意見が聞けるような場があると良い。	小学校再編は、地域には申し訳ない気持ちであるが、町の責任としていつかはやらなければならない日が来る。機会があれば色々な場所で意見を聞きながら慎重に進めていきたい。